

201号～250号 特集テーマ一覧

201号(1998年10月) **維持管理**～生き続ける社会資本～
 202号(1999年1月) **福岡**～個性的な顔が見えるまち～
 203号(1999年4月) **森林**～人間と生物を支える多彩な機能と価値～
 204号(1999年7月) **富山**～住みよく、暮らし続けるまち～
 205号(1999年10月) **みち**～人とみちの関わり～
 206号(2000年1月) **函館**～市民の活力に支えられたまちづくり～
 207号(2000年4月) **海岸**～ふるさと・なごき・そして～
 208号(2000年7月) **ユニバーサルデザイン**
 ～すべての人に気配りを バリアフリーを越えて～
 209号(2000年10月) **海外の文化・歴史・風土に基づいた発想**
 210号(2001年1月) **21世紀**～新しい時代に伝えるもの～
 211号(2001年4月) **防災**～災害を忘れないために～
 212号(2001年7月) **仙台**～杜の都の水文化～
 213号(2001年10月) **和歌山**～自然と歴史の宝庫 紀の国～
 214号(2002年1月) **文明の劇場・首都**～その変遷と未来～
 215号(2002年4月) **循環型社会**～持続可能な未来に向けて～
 216号(2002年7月) **土木技術者の志**
 217号(2002年10月) **地域を活かす情報**
 218号(2003年1月) **土木遺産**～活用され愛されつづける文化～
 219号(2003年4月) **路面電車/LRT**～人と環境にやさしい乗物～
 220号(2003年7月) **吉野川**～川と人のかかわり～
 221号(2003年10月) **湿地**～保全と再生に向けて～
 222号(2004年1月) **土木遺産Ⅱ**～時を超える技術者のこころ～
 223号(2004年4月) **京都**～古都の美とまちづくり～
 224号(2004年7月) **駅**～人々の触れ合う空間創出を目指して～
 225号(2004年10月) **観光**～地域の光をうみ出す～
 226号(2005年1月) **土木遺産Ⅲ**～悠久の時を超えて～

227号(2005年4月) **地図**～地図を通して眺める世界～
 228号(2005年7月) **大分**～豊の国 地域社会の未来像～
 229号(2005年10月) **エネルギー**～効率的な利用の実現に向けて～
 230号(2006年1月) **土木遺産Ⅳ**～先人たちに叡智を学ぶ～
 231号(2006年4月) **土木プロジェクトのリスクマネジメント**
 232号(2006年7月) **青森**～雪と共に生きる人の知恵～
 233号(2006年10月) **里地**～原風景を守り育てる～
 234号(2007年1月) **土木遺産Ⅴ**～日本の国づくりの心～
 235号(2007年4月) **伝承**～志を次世代に～
 236号(2007年7月) **高知**～いごっそうとはちきんの国 土佐～
 237号(2007年10月) **古代都市**～日本人とまちづくりの原点～
 238号(2008年1月) **土木遺産Ⅵ**～日本の土木風土の原点～
 239号(2008年4月) **島根**～神々の国の「田舎」づくり～
 240号(2008年7月) **国際協力の未来**
 ～豊かな国際社会の形成を目指して～
 241号(2008年10月) **都市の地域力**
 ～都市を支えるソーシャルキャピタルの醸成～
 242号(2009年1月) **土木遺産Ⅶ**～文化の礎を育む技術の結晶～
 243号(2009年4月) **あかり**～守る・愛でる・育む～
 244号(2009年7月) **こどもが楽しい空間**～群れて遊ぶ～
 245号(2009年10月) **美術館**～まちづくりの核としての存在～
 246号(2010年1月) **土木遺産Ⅷ**～北の地に根付く文化～
 247号(2010年4月) **福井**～地域資源にみる独創性～
 248号(2010年7月) **気候**～気候との新しい付き合い方～
 249号(2010年10月) **生物多様性の保全**
 ～いろいろなから生命がつながる～
 250号(2011年1月) **土木遺産Ⅸ**
 ～バルカン諸国／多民族地域における土木文化～

250号発刊のごあいさつ

建設コンサルタンツ協会
 広報委員会委員長／小松 豊



協会誌はこれまでに『建設コンサルタント(1～170号)』『明日へのJCCA(171～209号)』と誌名を変え、210号(2001年1月)より建設コンサルタントのイメージアップも兼ねて、現在の『Consultant』に名称を変更しました。それから10年が経過し、この度250号を発行することとなりました。誌面を借りて、読者の皆様に御礼申し上げます。

210号からの協会誌は、外部への情報発信に加え、他の学会・協会誌に負けない誌面づくりを目標に掲げ、会誌編集専門委員会内外で活発な議論や編集作業を精力的に行ってまいりました。この間、なくなった企画もありますが、新企画として、会員の輪を広げるための「ペンリレー」や「会員会社紹介」、古き良き時代を偲び、次世代につなげるための「あの頃の風景」、「名作の舞台から」を加えるなど日々誌

面の向上を図ってまいりました。

さらには、会誌企画編集の成果を活用し、2002年にはそれまでの会誌で取り上げた鼎談と対談を書籍『地域づくりの道しるべ』として刊行しました。また、2003年からはヨーロッパ、アジア、日本での土木遺産を取材し、毎年1月号で紹介してきました。その結果を集約し、2005年に書籍『土木遺産ヨーロッパ編』を、2007年は『土木遺産Ⅱアジア編』、2010年には『土木遺産Ⅲ日本編』を刊行しました。

なお、建設コンサルタンツ協会の第2次中期行動計画(平成21～25年度)では「魅力ある建設コンサルタントの広報活動の推進」が目標として掲げられています。改めて、協会広報誌の原点に立ち戻って会誌を見直し、さらなる誌面の向上を図っていきたいと考えています。

